国際化学肥料ニュース（2011 年 6 月）

肥料業界の 2011 年 6 月動態

＊　５月下旬にカナダのモントリオールで開催された IFA 国際会議後、加里肥料がアジア市場向けの価格上昇は明白となった。マレーシア、インドネシア等東南アジア諸国は Canpotex, BPC, ICL, APC が提示した標準塩化加里 CFR 価格 510 ドル/トン、大粒塩化加里 CFR525 ドル/トンを受け入れた。また、中国では、今年 6～12 月期の輸入塩化加里価格と数量は BPC との間に CFR470 ドル/トンで 50 万トン、Canpotex との間も CFR470 ドル/トンで 63 万トンをそれぞれ契約した。この値段は今年上半期より 70 ドル/トンの値上げとなった。一方、インドはまだ価格に難色を示したが、同等の価格で妥協する見通しとなる。

BPC はブラジルに対して、7 月 1 日から大粒塩化加里の値上げを通告した。CFR550～560 ドル/トンで、30 ドル/トンの値上げになる。

チリの SQM も硝酸加里の値上げに踏み切った。7 月 1 日からアメリカと EU にそれぞれ 50 ドルと 40 ユーロ/トンの値上げと通告、CFR アメリカ 1100 ドル/トン、CFR ヨーロッパ 820 ユーロ/トンにした。

＊　世界の加里資源と加里肥料の生産は 3 大メーカーに集約してきた。カナダ Potash Corp は北米最大の加里肥料メーカーで、加里鉱山 6 ヶ所を持ち、2,010 年生産量が 807.8 万トン、世界総生産量の 16.1%、また、チリ SQM、ヨルダン APC、イスラエル ICL、中国化学肥料のそれぞれ 32%、28%、14%、22%の株式を所有する。

アメリカ Mosaic は北米第 2 の化学肥料メーカーである。カナダに 3 ヶ所、アメリカに 2 ヶ所の加里鉱山を持ち、2010 年加里肥料生産量 553.7 万トン。

ロシアの Uralkali と Silvinit は 2010 年加里肥料生産量がそれぞれ 506.1 万トンと 520 万トンであった。2011 年 6 月に正式合併し、世界最大の加里肥料メーカーになった。なお、新会社は 87.4 億トンの加里鉱石埋蔵量を保有すると言われる。

2010 年末現在、世界の加里鉱石埋蔵量が約 100 億トン、主にカナダ、ロシア、ベラルーシ、ブラジルに分布する。2010 年に上記の３大メーカーの塩化加里生産量 2387.6 万トン、世界シェアの 47.6%を占める。

他にイスラエル ICL、ヨルダン APC、ドイツ K+S、中国塩湖グループも主要な加里肥料メーカーである。

＊　中国肥料輸出関税の関係で、インドが中国から関税率の低い N、P 化成肥料を大量に輸入した。今年 1～５月 16.8 万トンを輸入し、まだ 90 万トン弱の契約を残されている。また、インド NFL は６月 22 日までに 15 万トン N、P 化成肥料の入札募集を行ったが、応札者がいない状況。

＊　６月に尿素の国際価格が上昇し続け、ほとんどのメーカーから出した価格は FOB500 ドル/トンを超え、昨年同期より倍以上の値段となり、2008 年以来の最高値を更新した。理由は農作物の価格上昇による肥料需要旺盛と原油高であるが、最も重要なのは中国尿素が 7 月 1 日～10 月 30 日の非需要期に輸出できる量が昨年より 60%以上減るではないかと市場が見ている。

＊　ベラルーシ通信社の報道によると、ベラルーシ 1～5 月に 388.5 万トン塩化加里を生産し、昨年より 1.9%増、輸出価格 384.4 ドル/トン、昨年より 29%増。昨年、ベラルーシから 680 万トン塩化加里を輸出した。

＊　6 月 1 日からの中国りん安非需要期における輸出関税の徴収方法が明らかになった。
1.　関税計算用の基準価格 FOB DAP 3400 人民元（約 527 ドル）／トン、MAP 3100 人民元（約 480 ドル）／トンは関税込価格で、7%輸出関税をクリアするため、港到着価格が DAP 3120 人民元（約 484 ドル）／トン、MAP 2830 人民元（約 439 ドル）／トン以下にしなければならない。この価格は中国国内価格より安いので、輸出メリットが全くない。
2.　輸出際に、中国税関は輸出者に申告価格の 20%を関税担保金として予納を求める。通関後、輸出者は申告価格が正当であることを書面証明しない限り、担保金を没収する。これは、輸出者が不当な低価格で輸出申告をして、輸出関税の脱税を防ぐためである。
　中国政府の上記輸出制限政策で、大型国営企業を除いて、りん安輸出がほとんどストップされた。

大手各社の営業業績

肥料プラント新規建設

＊　ベトナムからの報道によれば、6 月 17 日に、ベトナム石油天然ガスグループはオマーン石油（OCC）との間にベトナム Ca Mau に建設中の尿素工場に出資する契約を締結した。当該工場は 2010 年 7 月着工、2012 年完成予定。生産能力は 80 万トン尿素／年。

＊　サウジアラビア鉱業（SAMC）は 6 月 18 日に子会社 MPC（Ma'aden）の 1 本目の DAP 生産ラインが完成し、稼働したと発表した。MPC はサウジアラビア基礎工業（SABIC）とサウジアラビア鉱業が共同出資 55 億ドルで設立したりん酸肥料会社で、出資率が SAMC 70%、SABIC 30%で、サウジアラビア北部の Al-Jalamid りん鉱山の採掘と東海岸の Ras Azzour に DAP 100 万トン／年の生産ライン 3 本を建設、完成後 DAP 300 万トン／年の生産能力を持ち、全量輸出に供し、DAP 国際市場需要量の 10%を賄うこ

とができる。

＊ 国際金融公社（IFC）はヨルダン-インド化学肥料（JIFCO）に 2.15 億ドル、EU 投資銀行（EIB）も 1.2 億ドルの借款を提供する。JIFCO はヨルダンりん酸鉱業（JPMC）とインド農民肥料協会（IFFCO）の合弁企業で、ヨルダン南部に生産能力 50 万トン／年のりん酸工場を建設中。

＊ 西オーストラリア CSBP 社は 4770 万ドルを投資し、26 万トン／年の硝安生産ラインを増設する。工場は西オーストラリア州パース港より 43 ㎞に位置し、2014 年に増設生産ラインが完成後、CSBP の硝酸生産能力が 78 万トン／年に達する。また、硝安以外に尿素生産能力の拡大も計画している。

その他

＊ ロシア最大の化学肥料メーカーFosagro 社はロンドン証券取引所に上場する予定。7～10%の新規株式を発行し、7～8 億ドルを調達する。ロシア政府も Fosagro 社が外国に 21.4%までの株式を発行することを許可した。

Fosagro 社は年間 800 万トンりん鉱石、430 万トンりん酸肥料と 50 万トン窒素肥料を生産する。2010 年純利益 3.95 億ドル。2011 年 1～3 月売上高 8.8 億ドル、営業利益 2.23 億ドル。上場で調達する資金は M&A に使う予定。

＊ アメリカ Mosaic 社と Cargill 社が資本分離と再編に合意を達したことを発表した。その内容は Cargill 社が所有する Mosaic 社 2.86 億株式（株式総数の 64%）中の 1.78 億株式を Mosaic 社の株主に、1.075 億株式を債権者に譲渡することにより、Mosaic 社が Cargill 社から独立するものである。Mosaic 社は同時に 1.15 億株式を新規発行する。

Mosaic 社は、Cargill 社の肥料部門とアメリカ IMC 社との合併によりできた肥料会社で、2004 年にニューヨーク証券取引所に上場し、世界最大のりん酸肥料供給者と第 2 位の加里肥料供給者であり、世界 10 ヶ国に工場を持ち、40 ヶ国に輸出販売している。2010 年度にリン酸肥料生産能力 970 万トン、加里肥料生産能力 1040 万トン、世界シェアの 13%と 12%を占める。今回の分離再編により、2021 年にさらに 500 万トンの肥料生産能力を増強する。

＊ ブラジルヴァーレ社は 14 億ドルで子会社のヴァーレ化学肥料の 16%株式を取得し、完全子会社にする。ヴァーレは昨年 5 月にアメリカの Bunge 社から化学肥料子会社 Fosfertil 社を 38 億ドルで買収し、傘下の肥料部門と合併させ、ヴァーレ化学肥料を立ち上げた。

＊ オーストラリア公正取引委員会は、IPL 社が Burrup 社の 65%株式を買収する申請に同意した。Burrup 社は西オーストラリアの Burrup 半島にアンモニア合成工場を持ち、76 万トンアンモニア／年の生産能力を有する。Burrup 社はインド資産家 Pankaj Oswal とその家族が 65%、ルウェイの Yara 社が 35%の株式を所有する。Pankaj Oswal とその家族が所有する株式を売却する意思を示し、今まで、オーストラリア国内では Orica、IPL、Westfarmers、エジプトの Orascom、中国の中化化学肥料がその株式を買収する意欲を示した。

＊ ブラジルヴァーレ社はアルゼンチン Mendoza 州政府との協議により、Mendoza 州 Rio Colorado にある加里肥料プロジェクトを再開することに同意した。Mendoza 州政府は 6 月 17 日にヴァーレ社が 75%の人員を地元から雇用するのと生産設備を地元メーカーに発注する約束を守っていないことを指摘し、当該プロジェクトを中止させた。計画では、ヴァーレは当該プロジェクトに 59 億ドルを投資し、2014 年から生産開始する予定。

＊ 6 月 16 日、ロシア Uralkali 社は Silvinit 社との合併を完了したと正式に発表した。Uralkali はまず、Silvinit の 20%株式を買収し、その後、Silvinit の株主が順次に Uralkali の株式と交換する。2010 年両社の塩化加里生産量 1030 万トン、輸出量 830 万トン、世界シェアの 21～22%を占める。合併後、現行生産能力 1060 万トンに達し、新規生産能力 620 万トンも計画している。

＊ インドのタタ化学は化学肥料に力を入れている。アフリカのカーボンに建設中の尿素／アンモニア工場に国外から 1.45 億ドルの資金を調達し、投入する。タタ化学は今年 4 月にシンガポールの Olam 社からカーボ・ベルデにある建設中の尿素工場の 25.1%株式を購入した。購入金額 2.9 億ドル。当該項目はすでに 13 億ドルを投資し、生産能力 130 万トン/年の尿素プラントと対応のアンモニア合成装置を 3 年内に完成する。また、第 2 期にも同様の 130 万トン尿素のプラントを建設する計画である。当該項目は Olam 社 62.9%、カーボン政府が 12%を出資している。完成後、尿素生産量の 25%以上をインドに輸出する予定。

また、タタ化学はアフリカのナイジェリア Notore 化学との間に技術コンサルタント契約を締結し、River 州 Onne にある尿素／アンモニア工場の技術改良を担う。当該工場は尿素 1500 トン/日、アンモニア 1000 トン/日の生産能力を有する。

タタ化学はモロッコにおいて、合弁会社 Imacid 社のリン酸生産能力の拡大と DAP 生産ラインの新設を計画している。最終的にリン酸生産能力 43 万トン（純 P2O5 換算）／年、DAP 生産能力 100 万トン／年と計画する。

インド国内では、Haldia 工場に 240 万ドルを投資し、5 万トンの過リン酸石灰設備増設を行い、2012 年末に完成する予定。Babrala 尿素工場の増設計画では、インド政府が天然ガスの供給と価格に関する約束をしていないため、現在暫定中止している。